

第3次男女共同参画基本計画(令和5年度から令和9年度)の指標動向(令和5年度分)

(資料1－2)

第3次基本計画 指 標				基準(値) [令和3年度]	実績(値) [令和4年度]	実績(値) [令和5年度]	目標(値) [令和9年度]	対前年度指標 の動き(※1)	目標達成度 (※2)	目標達成度 (※2)	主な取組、各指標の動向、今後の取組の方向性
基本 目標 1	すべての世代が 男女共同参画の 意義を 理解するための 環境づくり	1	「男は仕事、女は家庭」という考え方の肯定割合	12.6%	－	－	減少させる	－	－	－	【主な取組実績】 ・男女共同参画センターを中心とした広報・啓発 ・学校教育における男女共同参画教材の活用 【動向】 ・「2男女共同参画が実現されていると思う市民の割合」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、女性に関する就業面・生活面での課題が顕在化したことなどの影響により落ちこんだ昨年度実績値から、令和5年度は5.4ポイント向上している。 【今後の取組の方向性】 ・推進拠点である男女共同参画センターが実施する事業を中心に、性別による固定的役割分担意識の解消等をはじめとする学習機会の提供や意識啓発を継続して実施する。 ・男女共同参画センターウェブサイトの内容の充実に努めるとともに、連携する学生団体の発信するSNS等、様々な広報媒体を活用し、あらゆる世代に男女共同参画の意識を届ける啓発活動に取り組む。
		2	男女共同参画が実現されていると思う市民の割合	35.2% [令和4年度]	35.2%	40.6%	70.0%	向上	15.5%	低	
		3	男女共同参画センターゆめぽらの認知度	22.1%	－	－	40.0%	－	－	－	
		4	男女の地位が教育の場で平等と感じる人の割合	64.1%	－	－	増加させる	－	－	－	
		5	家庭教育アドバイザーの数	27名	29名	30名	増加させる	増加	－	－	
基本 目標 2	あらゆる分野で 男女ともが 活躍できる 環境づくり	6	働きやすく、生活とのバランスがとれたまちだと思う市民の割合	33.1% [令和4年度]	33.1%	34.9%	50.0%	維持	10.7%	低	【主な取組実績】 ・県主催「やまぐち女性活躍応援団・地域シンポジウムin山口」に市内大学・企業等と共に参加 ・働く婦人の家において、仕事と家庭の両立を図り就業を継続するためのスキルアップ講座を開催 ・山口市特定事業主行動計画策定(令和5年4月) ・子育てに関する情報を掲載した「山口市子育て支援情報ハンドブック」を改定し発行 【動向】 ・より働きやすい職場環境をつくるための、育児や介護に対する環境の整備は進んでいる。 ・市の施策・方針決定過程への女性の参加促進は、達成度の低い指標が多い。 【今後の取組の方向性】 ・審議会等の委員改選等時にチェックリストを活用し、女性委員の登用を意識した構成となるよう取り組む。 ・市男性職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに取り組み、男性の育休取得が当たり前となるよう、市役所全体で職員の意識の醸成を図る。 ・女性活躍推進のための企業向け研修会や優良職場のPR、働く女性向けのセミナーの開催や女性の就業・起業の支援に取り組む。 ・地域子育て支援拠点施設の充実、保育サービス等の充実による待機児童の解消に取り組む。 【補足】 ・「17市職員の育児休業取得率」：女性の取得率については実績(R4、R5年度)、目標ともに100%であるため、表から除いている。また、特定事業主行動計画「職員のための次世代育成及び女性活躍推進に関するプラン」との整合性を図り、令和7年度の目標値を100%と置き換えている。
		7	地域子育て支援拠点施設の利用者数	4,410人／月	4,915人／月	5,100人／月	6,149人／月 [令和6年度]	向上	39.7%	中	
		8	保育所等定員数	4,523人	4,648人	4,822人	5,053人	向上	56.4%	中	
		9	放課後児童クラブ定員数	2,667人	2,677人	2,762人	2,737人 [令和6年度]	向上	135.7%	高	
		10	地域包括支援センターを知っている市民の割合	53.9% [令和4年度]	53.9%	57.5%	63.0%	向上	39.6%	中	
		11	子どもを安心して産み育てられる環境が整っていると思う、子どもを持つ親の割合	67.3% [令和4年度]	67.3%	63.5%	75.0%	低下	0.0%	低	
		12	ポジティブ・アクションに取り組む事業者の割合	31.3% [令和2年度]	31.3%	33.7%	40.0%	向上	27.6%	低	
		13	男女の地位が職場で平等と感じる人の割合	27.0%	－	－	40.0%	－	－	－	
		14	審議会等の女性委員登用率	28.4%	29.1%	30.0%	40.0%	向上	13.8%	低	
		15	女性委員のいない審議会等の割合	13.5%	18.6%	16.0%	0%	向上	0.0%	低	
		16	市の管理職に占める女性職員の割合	11.5% [令和4年度]	11.5%	11.9%	15.0%	向上	11.4%	低	
		17	市職員の育児休業取得率	男性6.7%	男性7.9%	男性36.7%	男性100.0% [令和7年度]	向上	32.2%	中	
		18	農業委員に占める女性の割合	25.0%	25.0%	25.0%	30.0%	維持	0.0%	低	
		19	自治会長に占める女性の割合	7.3%	8.5%	7.8%	10.0%	低下	18.5%	低	
		20	地域づくり協議会の役員に占める女性の割合	16.8%	18.5%	18.2%	20.0%	低下	43.8%	中	
		21	男女の地位が地域社会で平等と感じる人の割合	32.8%	－	－	40.0%	－	－	－	
		22	山口市防災会議に占める女性の割合	5.8%	5.8%	5.8%	30.0%	維持	0.0%	低	
		23	消防団員に占める女性の割合	8.0%	8.0%	7.1%	10.0%	低下	0.0%	低	
基本 目標 3	男女ともに 健康で 安全・安心な 暮らしづくり	24	ドメスティック・バイオレンス(DV)にあたる行為を理解している人の割合	平手で打つ	78.4%	－	－	増加させる	－	－	【主な取組実績】 ・「女性に対する暴力をなくす運動」への取組(パープルライトアップやリボンバッジの着用) ・DV対策庁内連絡会議の開催 ・男女共同参画センターにおける相談体制の強化 ・ひとり親家庭等の子どもが定期的に通える場所として、生活支援や食事の提供等を行う「居場所」や学習支援を行う「学びの場」を開設 【動向】 「30自分が健康だと思う市民の割合」は、対前年度0.3ポイントの低下であるが、評価の維持はできている。 【今後の取組の方向性】 ・生活困窮、家庭関係破綻など女性の抱える問題が多様化、複雑化している中、DV被害者を含む困難な問題を抱える女性が迷わず相談できるよう、引き続き相談窓口の周知や、相談があった際には、関係部署との連携した対応に取り組む。 ・DVIに関する相談を含め、男女共同参画センターにおける相談件数は増加していることから、女性相談員が担う役割は重要となる。研修の受講等により、専門性を深め、相談者に寄り添ったよりよい相談業務となるよう、相談体制の充実、強化を図る。 ・相談内容から読み取れる課題を掘り起こし、事業へ反映し、社会化する。
		25		殴るふりをしておどす	69.1%	－	－	増加させる	－	－	
		26		いやがっているのに性的な行為を強要する	81.6%	－	－	増加させる	－	－	
		27		生活費を渡さない、必要とするお金を渡さない	74.5%	－	－	増加させる	－	－	
		28	DV防止法の概要を知っている市民の割合		22.8%	－	－	30.0%	－	－	
		29	DV相談窓口の認知度		46.4%	－	－	増加させる	－	－	
		30	自分が健康だと思う市民の割合		75.6% [令和4年度]	75.6%	75.3%	80.0%	維持	0.0%	低

※1 対前年度指標の動き：まちづくりアンケートから実績値を取得しているものについては、4年度の実績値と比較して±3ポイント程度の統計誤差が出ることがあるので、基本的にこの範囲内の動きは「維持」としている。

※2 目標達成度 = $\frac{\text{令和5年度実績値}-\text{基準値}}{\text{目標値}-\text{基準値}}$ 高：達成度が70%以上
中：達成度が30%以上70%未満
低：達成度が30%未満